

2026年10月期 中間決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年6月15日

上場会社名 大友ロジスティクスサービス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9149 URL <https://www.otomo-logi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松村 豊人
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 松島 義之 TEL 03-5245-3001
 中間発行情報提出予定日 2026年7月31日 配当支払開始予定日 ー
 中間決算補足説明資料作成の有無：無
 中間決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年10月期中間期の業績 (2025年11月1日～2026年4月30日)

(1) 経営成績

(%表示は、対前年同期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年10月期中間期	14,969	9.9	1,247	678.1	1,106	-	734	-
2025年10月期中間期	13,626	7.6	160	-	11	-	10	△83.8

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年10月期中間期	36.75	-
2025年10月期中間期	0.50	-

(注) 2026年10月期中間期及び2025年10月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年10月期中間期	47,659	9,517	20.0	475.88
2025年10月期	47,366	8,871	18.7	443.56

(参考) 自己資本 2026年10月期中間期 9,517百万円 2025年10月期 8,871百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 中間期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年10月期中間期	1,606	△2,057	519	1,240
2025年10月期中間期	3,109	△2,313	△721	1,192

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2025年10月期	0.00	5.00	5.00
2026年10月期	0.00	-	-
2026年10月期 (予想)	-	-	-

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2. 2026年10月期の期末の配当予想額は、現時点では未定です。

3. 2026年10月期の業績予想（2025年11月1日～2026年10月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,496	8.4	2,656	165.9	2,384	208.8	1,571	176.0	78.56

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

（1）中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 中間財務諸表及び主な注記（4）中間財務諸表に関する注記事項（中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年10月中間期	20,000,000株	2025年10月期	20,000,000株
② 期末自己株式数	2026年10月中間期	－株	2025年10月期	－株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年10月中間期	20,000,000株	2025年10月中間期	20,000,000株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(表示方法の変更)	8
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、賃上げの継続および雇用環境の改善により個人消費に関して持ち直しの兆しが見られました。一方、米国の関税政策見直しによるサプライチェーンへの影響、米中対立や中東情勢緊迫化などの地政学的リスクが高まったことにより、エネルギー・原材料価格の高止まりや円安による輸入価格の上昇により物価上昇がありました。しかし、企業の設備投資が増加したほか、雇用・所得環境の改善もあり、景気は緩やかに回復しました。

このような経営環境のもと、当社の主要な取引先である建設機械メーカー関連及び自動車メーカー関連の生産が伸び悩む中、営業収益を拡大するために、当社ビジネスモデルの専門領域外（雑貨、食品等）への営業活動を積極的に取り組みました。

当社では2023年1月から2025年10月期までに、つくば営業所、神戸営業所神戸西倉庫、ひたちなか営業所佐和倉庫の増床および、相模原営業所の賃貸倉庫の増床を含め、全国22件の営業所および倉庫の開設、増設による設備投資を実施し、ビジネスモデルの強化を図りました。

これにより当中間会計期間においては、運送部門では拡大した大友ロジスティクスサービスのネットワークを活かした物流リードタイムの最適化、物流コストの低減等を提案し、大型案件の獲得に取り組みました。

一方で、商品管理部門では増床した倉庫での寄託作業の提案を行い、収益拡大に取り組みました。

これらの結果、営業収益は、14,969,382千円（前年同期比9.9%増）、営業利益は1,247,850千円（前年同期比678.1%増）、経常利益は1,106,203千円（前年同期は経常利益11,447千円）、中間純利益は734,924千円（前年同期は中間純利益10,162千円）となりました。

セグメントの業績を示すと以下の通りとなります。

(運送部門)

建設機械メーカーならびに自動車メーカーの生産が伸び悩んでいる状況においても自動車関連部品企業の新規取引先ならびに新規案件の獲得に努め、営業収益は11,349,624千円（前年同期比8.5%増）となりました。セグメント利益は、2024年問題に対応するための賃金の引上げや退職金規程の見直しに伴う人件費の増加等ありましたが営業収益の増加に伴い、1,430,447千円（前年同期比113.9%増）となりました。

(商品管理部門)

自動車関連部品企業の新規案件の獲得により、営業収益は3,619,757千円（前年同期比14.5%増）となりました。セグメント利益は先行投資に伴う賃借料の増加ならびに減価償却費の増加がありましたが営業収益の増加に伴い、440,943千円（前年同期比118.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当中間会計期間末における流動資産の残高は5,069,359千円で、前事業年度末に比べ69,248千円減少しております。電子記録債権の減少228,456千円が主な変動要因であります。

(固定資産)

当中間会計期間末における固定資産の残高は42,589,776千円で、前事業年度末に比べ362,065千円増加しております。有形固定資産の増加414,835千円が主な変動要因であります。

(流動負債)

当中間会計期間末における流動負債の残高は12,234,143千円で、前事業年度末に比べ246,599千円減少しております。短期借入金の増加960,000千円及び1年内返済予定の長期借入金の増加106,935千円があったものの、未払消費税等が1,324,681千円減少していることが主な変動要因であります。

(固定負債)

当中間会計期間末における固定負債の残高は25,907,479千円で、前事業年度末に比べ106,825千円減少しております。長期借入金の増加404,640千円があったものの、リース債務が567,598千円減少していることが主な変動要因であります。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産の残高は9,517,511千円で、前事業年度末に比べ646,242千円増加しております。利益剰余金の増加634,924千円が主な変動要因であります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は1,240,969千円（前事業年度末比67,967千円増加）となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税引前中間純利益1,123,566千円、減価償却費1,436,983千円の計上及び未払又は未収消費税等の増減額△885,391千円により、1,606,362千円の収入となりました(前年同期は3,109,945千円の収入)。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、主に滋賀営業所彦根倉庫の建設、豊橋営業所浜松倉庫の増設用土地の取得及び建設、車両の購入等に伴う有形固定資産の取得による支出2,147,926千円の計上により、2,057,941千円の支出となりました(前年同期は2,313,063千円の支出)。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入の返済による支出1,559,124千円があったものの、長期借入金の収入による増加2,070,700千円により、519,546千円の収入となりました(前年同期は721,516千円の支出)。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間会計期間の業績は、営業収益が堅調に推移したほか、軽油価格が想定よりも低位に推移したことならびに有料道路費の減少等により、2025年12月19日に業績予想の想定を上回る結果となりました。

この当中間会計期間の結果に加え、直近の事業環境の踏まえ、2026年10月期における通期業績予想につきましては上方修正をいたします。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年10月31日)	当中間会計期間 (2026年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,173,002	1,240,969
受取手形	6,183	37,424
電子記録債権	465,644	237,188
営業未収入金	3,154,901	3,155,617
貯蔵品	10,827	1,993
前払費用	312,391	279,230
未収消費税等	-	46,393
その他	18,747	72,711
貸倒引当金	△3,090	△2,170
流動資産合計	5,138,607	5,069,359
固定資産		
有形固定資産		
建物	28,179,116	32,493,598
減価償却累計額	△6,646,615	△7,340,148
建物(純額)	21,532,501	25,153,449
構築物	2,387,120	2,673,752
減価償却累計額	△950,495	△1,056,817
構築物(純額)	1,436,624	1,616,935
車両運搬具	9,221,579	9,230,216
減価償却累計額	△7,396,621	△7,797,207
車両運搬具(純額)	1,824,958	1,433,008
工具、器具及び備品	1,213,222	1,286,792
減価償却累計額	△829,657	△892,550
工具、器具及び備品(純額)	383,565	394,242
土地	11,914,832	11,914,832
建設仮勘定	3,005,150	-
有形固定資産合計	40,097,632	40,512,468
無形固定資産		
ソフトウェア	3,218	5,535
無形固定資産合計	3,218	5,535
投資その他の資産		
出資金	1,620	1,620
破産更生債権等	7,497	7,497
長期前払費用	172,887	160,648
繰延税金資産	517,496	511,643
敷金保証金	1,424,567	1,370,401
その他	10,286	27,458
貸倒引当金	△7,497	△7,497
投資その他の資産合計	2,126,858	2,071,772
固定資産合計	42,227,710	42,589,776
資産合計	47,366,317	47,659,135

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年10月31日)	当中間会計期間 (2026年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	37,266	5,796
電子記録債務	191,932	140,288
営業未払金	994,511	1,031,039
短期借入金	3,140,000	4,100,000
1年内返済予定の長期借入金	3,128,873	3,235,809
リース債務	1,459,816	1,345,798
未払金	184,717	219,911
未払費用	1,143,329	1,134,670
未払法人税等	245,962	388,523
未払消費税等	1,324,681	-
預り金	43,477	43,423
賞与引当金	561,790	574,392
資産除去債務	9,894	-
その他	14,489	14,489
流動負債合計	12,480,743	12,234,143
固定負債		
長期借入金	21,579,082	21,983,723
長期未払金	184,891	137,029
リース債務	2,995,392	2,427,793
退職給付引当金	908,260	1,003,006
役員退職慰労引当金	68,734	71,773
資産除去債務	272,174	278,385
その他	5,768	5,768
固定負債合計	26,014,305	25,907,479
負債合計	38,495,048	38,141,623
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
利益剰余金		
利益準備金	25,000	25,000
その他利益剰余金		
特別償却準備金	319,415	319,415
圧縮記帳積立金	250,418	250,418
別途積立金	133,187	133,187
繰越利益剰余金	8,036,604	8,671,529
利益剰余金合計	8,764,626	9,399,551
株主資本合計	8,864,626	9,499,551
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	6,642	17,960
評価・換算差額等合計	6,642	17,960
純資産合計	8,871,268	9,517,511
負債純資産合計	47,366,317	47,659,135

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)	当中間会計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年4月30日)
営業収益	13,626,839	14,969,382
営業原価	12,840,673	13,186,886
営業総利益	786,166	1,782,495
販売費及び一般管理費	625,794	534,645
営業利益	160,371	1,247,850
営業外収益		
受取利息・配当金	64	36
受取保険料	44,080	17,307
助成金収入	36,847	49,359
その他	9,881	4,215
営業外収益合計	90,874	70,919
営業外費用		
支払利息	161,258	205,296
支払手数料	74,084	1,165
その他	4,456	6,104
営業外費用合計	239,798	212,566
経常利益	11,447	1,106,203
特別利益		
固定資産売却益	17,046	17,362
特別利益合計	17,046	17,362
特別損失		
固定資産売却損	12,302	-
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	12,302	0
税引前中間純利益	16,191	1,123,566
法人税、住民税及び事業税	6,029	388,641
法人税等合計	6,029	388,641
中間純利益	10,162	734,924

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)	当中間会計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	16,191	1,123,566
減価償却費	1,628,979	1,436,983
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9,109	△920
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,400	12,602
退職給付引当金の増減額(△は減少)	103,013	94,745
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,038	3,038
受取利息及び受取配当金	△64	△36
受取保険料	△44,080	△17,307
助成金収入	△36,847	△49,359
支払利息	161,258	205,296
支払手数料	74,084	1,165
固定資産売却益	△17,046	△17,362
固定資産売却損	12,302	-
固定資産除却損	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	18,192	196,498
棚卸資産の増減額(△は増加)	△788	8,834
仕入債務の増減額(△は減少)	20,101	△83,113
前払費用の増減額(△は増加)	△1,373	3,104
未払金の増減額(△は減少)	△95,613	△10,945
未払又は未収消費税等の増減額(△は減少)	1,470,739	△885,391
未払費用の増減額(△は減少)	△1,469	△17,532
その他	51,299	△20,259
小計	3,374,427	1,983,605
利息及び配当金の受取額	64	36
助成金収入の受取額	36,847	49,359
保険金の受取額	44,080	17,307
利息の支払額	△151,694	△196,701
借入手数料の支払額	△74,084	△1,165
法人税等の支払額	△121,399	△246,150
法人税等の還付額	1,704	69
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,109,945	1,606,362
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,360,252	△2,147,926
有形固定資産の売却による収入	28,024	33,085
無形固定資産の取得による支出	△795	△2,995
出資金の回収による収入	410	-
従業員に対する長期貸付金の回収	70	-
長期前払費用の取得による支出	△224	-
敷金及び保証金の差入による支出	△35	△5,554
敷金及び保証金の回収による収入	19,738	75,342
資産除去債務の履行による支出	-	△9,894
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,313,063	△2,057,941
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△950,000	960,000
長期借入れによる収入	3,150,750	2,070,700
長期借入金の返済による支出	△1,997,663	△1,559,124
リース債務の返済による支出	△797,169	△783,126
割賦債務の返済による支出	△67,434	△68,902
配当金の支払額	△60,000	△100,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△721,516	519,546
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	75,366	67,967
現金及び現金同等物の期首残高	1,117,079	1,173,002
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,192,445	1,240,969

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法を採用しております。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません

(表示方法の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、事業内容別のセグメントから構成されており、「運送」、「商品管理」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、中間財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部営業収益または振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前中間会計期間(自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	中間財務諸表 計上額 (注2)
	運送	商品管理	合計		
営業収益					
自動車関連	5,427,455	1,511,696	6,939,151	-	6,939,151
建設用・産業用機械 関連	4,645,517	1,178,093	5,823,611	-	5,823,611
リチウムイオン電池 関連	208,199	344,213	552,412	-	552,412
その他	183,607	128,055	311,663	-	311,663
顧客との契約 から生じる収益	10,464,780	3,162,059	13,626,839	-	13,626,839
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への営業収 益	10,464,780	3,162,059	13,626,839	-	13,626,839
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	-	84,320	84,320	△84,320	-
計	10,464,780	3,246,379	13,711,160	△84,320	13,626,839
セグメント利益	668,725	201,761	870,486	△710,115	160,371
セグメント資産	22,169,942	21,219,847	43,389,790	3,261,395	46,651,186
その他の項目					
減価償却費	1,183,842	439,977	1,623,820	5,159	1,628,979
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	658,561	2,125,775	2,784,337	1,110	2,785,447

(注) 1. セグメント利益の調整額△710,115千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

セグメント資産の調整額3,261,395千円は主に各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、敷金保証金であります。

減価償却費の調整5,159千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に当社が所有する固定資産の減価償却費であります。

有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額1,110千円は各報告セグメントに配分していない当社が

保有する固定資産であります。

2. セグメント利益は中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間会計期間(自 2025年11月1日 至 2026年4月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	中間財務諸表 計上額 (注2)
	運送	商品管理	合計		
営業収益					
自動車関連	5,912,979	1,802,698	7,715,677	-	7,715,677
建設用・産業用機械 関連	4,959,115	1,271,421	6,230,536	-	6,230,536
リチウムイオン電池 関連	221,988	344,049	566,038	-	566,038
その他	255,540	201,588	457,129	-	457,129
顧客との契約 から生じる収益	11,349,624	3,619,757	14,969,382	-	14,969,382
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への営業収 益	11,349,624	3,619,757	14,969,382	-	14,969,382
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	-	88,896	88,896	△88,896	-
計	11,349,624	3,708,654	15,058,278	△88,896	14,969,382
セグメント利益	1,430,447	440,943	1,871,391	△623,541	1,247,850
セグメント資産	21,512,362	22,713,497	44,225,859	3,433,275	47,659,135
その他の項目					
減価償却費	954,318	478,336	1,432,654	4,329	1,436,983
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	618,066	1,228,060	1,846,127	13,627	1,859,755

(注) 1. セグメント利益の調整額△623,541千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

セグメント資産の調整額3,433,275千円は主に各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、敷金保証金であります。

減価償却費の調整4,329千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に当社が所有する固定資産の減価償却費であります。

有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額13,627千円は各報告セグメントに配分していない当社が保有する固定資産であります。

2. セグメント利益は中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。